

なんだ・かんだ

◆ 富士山の噴火 ◆

箱根山が4月26日から火山活動をはじめ、有感地震や地面の隆起等の現象が見られています。そんな中、富士山噴火について県東部危機管理事務局の方のお話を聞く機会がありましたのでレポートさせていただきます。

私の子供の頃、富士山は「休火山」と習いましたが、今は「活火山」に分類されています。現在では、休火山・死火山という呼び名は使われていないようで、火山噴火予知連絡会は「概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を活火山と定義し直したので、富士山も活火山に分類されています。

有史以来富士山は10回の噴火が記録されています。内大きな3つは
○800年(延暦噴火)：噴石が足柄路を埋めた為、箱根路が開かれた。
○864年(貞観噴火)：溶岩流が北麓の大きな湖を埋め、残ったのが、西湖と精進湖であり、溶岩流の上に出てきた森林地帯が青木ヶ原樹海。
○1707年(宝永噴火)：有史上最後の噴火。噴火は約2週間続いた。

そして今現在、富士山の噴火が近いのかという問いに対し、有識者は、
■世界的にM9.0クラスの地震後数年以内に火山噴火が誘発されるとされており、日本では東日本大震災が4年前に起こっている

■富士山は、1707年以降約300年噴火が起こっていない。このような状況は富士山の歴史の中で希である。

■東日本大震災の4日後に富士山直下でM6.4の地震が発生している。

このような理由から専門家から富士山は「いつ噴火してもおかしくない状態である。」と言われていました。また、数百年以上休止した後の噴火は大規模で爆発的な噴火になり易いと言われ、次に起こる噴火は宝永噴火のような爆発的大規模噴火を想定しておくべきだと言われていました。

政府などでは普段から富士山噴火のハザードマップなどを作成し、注意を喚起し、準備を行うよう訴えています。

困ったことに、火山が噴火する場所は噴火直前まで分かりません。また、火山の噴火現象も様々なものがありそれぞれ対応が違ってきます。

○噴石：噴火してからすぐ。噴石は小さくても家の屋根に穴をあけるほどの威力があって、当たると死亡することもある危険なものです

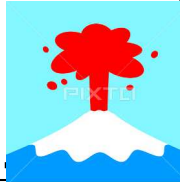
○火砕流：100km/h 400℃以上の岩石・火山灰・火山ガスの混合物が高速で流下する現象。遠くまでは届きませんが、スピードが大変速いので、火口近くの人とはとにかく急いで避難する必要があります。平成3年の雲仙普賢岳の火砕流は、目に焼き付いています。

○溶岩流：比較的流れるスピードが遅いので、範囲は広くなりますが、逃げるのは難しくはありません

○降灰：火山災害の90%で長期に渡る。また、広範囲にわたり、火山灰が30cm積り雨が降るとその重みで家が潰れる。

自分が住んでいる場所の、富士山からの距離・方角によって噴火に対する準備や対策が異なってきます。ネットなどを見て、自分の住む地域にどのような被害が考えられるのかを普段からチェックしておくことが大切だということです。

富士山の噴火は現実的だとは思えませんが、我々が考えている以上にその確率は高いのかもしれない。東海地震と共に、警戒をすべき災害であると再認識しました。



■ 6月からクールビズで失礼します ■

今年ももうすぐ梅雨に入ります。気象庁のホームページを見ますと、東海地方の梅雨入りの時期は年々早まっている傾向があるようですが、1951年から2014年の64年間の梅雨入りの平均時期は6月5日頃です。また、昨年の梅雨入りは6月4日。一昨年は5月28日頃であることから、今年の東海地方の梅雨入りは、6月1日頃から6月7日頃の間であることが推測できるそうです。

ということで当社でも、6月1日から昨年を引き続き、10月末日までの5カ月間、例年同様のクールビズとさせていただきます。ネクタイをすのど、しないのどでは体感温度が2度程度違うといえます。今年も、ノーネクタイ・ノージャケットご理解願います。

きれいな花を咲かせましょ
長く不順な天候が続いていましたが、5月に入り、平年より少し暑い気候はしますが、それでも気持ちの良い晴れた日が続いています。季節はもう夏に入っています。
ゴールデンウィークが始まる頃に母が体調を崩したために、朝晩庭の草花に水を撒く生活が半月ほど続きました。最初は、面倒だなと思っていたのですが、日が経つにつれ、名前が分からない花が蕾を付け、赤い花を咲かせたり、カラーが白い綺麗な花を咲かせたり、ジャスミンの木からとても香しい香りがしたりと、その変化に驚くと共に、季節を感じながら、水を撒くという作業も楽しくなってきました。しかし、母も回復して水撒き作業が私の手を離れてしまうと、もう進んで花の世話を焼きたいとは思いません。大体、肥料を上げたり、鉢を植えかえたり、虫や病気のケアをすることが面倒です。私は生来、ずぼらな性格なのです。
しかし、仕事に関してはそんなことは言っていられません。先日前期の決算が確定し、何とか黒字は確保したものの、より一層頑張っていかなければならない状況です。せつせと、商売の種を植え、水を撒いてきれいな花を咲かせなければなりません。今年度も頑張ります。

代表取締役 服部 敬一郎

社員ブログ

● やってみました ● 営業部 原田 美穂

ゴールデンウィーク中の事ですが、家の周りの塀を家族で塗装しました。妹が建築関係の仕事をしているので、材料の用意・下準備・マスキングテープが足りないと布のガムテープを代りにしたりと慣れているのかテキパキとやってくれました。

まず外側から始め2時間程で裏側へ、私はそこから参加しました。私の様な素人でも裏側なので気が楽でした。

塗っていると腕と足が痛くなりました。凸凹模様の壁なので塗りムラがないように力を入れ押し付けるように塗ったり、途中椅子に座りながらやりましたが、下の方は塗りにくいのでしゃがんだ姿勢で塗っていたせいでと思います。

出来上がりはプロから見たらどうか分かりませんが、ほとんど妹のおかげですがきれいにできたと思います。

私は事務職なので現場の人達はこういう事を毎回やるのだなと少し勉強になりました。

我が家の場合は身内に建築関係者がいたのでできましたが、素人家族では下地処理や後片付けがたぶん知識がないとできないと思います。

塗装を含めリフォームの事等、何かありましたら当社へご用命下さい。連絡お待ちしております！



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534
E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/